

モールドの小型化で布設性を向上させた
「矢崎・スリムブランチ」新発売
「やわらかCVT」を分岐に採用し配電盤接続作業も改善

矢崎総業株式会社（社長：矢崎信二、資本金：31億9,150万円、本社：東京都港区）は、貫通穴に引っかかりやすい分岐部のモールドを小型化して布設性を高めた「矢崎・スリムブランチ」を2月6日より全国一斉に発売します。

ブランチケーブルの使用性をさらに高め、布設・配線作業を改善してコストダウンに寄与する点を訴求し、前期比50%増の販売を目指します。

ブランチケーブルとは、ビルの電気配線図に基づき、電線工場内で予め幹線と分岐線を接続し、モールドによる絶縁処理を施したケーブル加工製品です。建築現場で電線を切ったりつないだりする手間が省け、布設作業も簡単です。

また、工場で分岐線を接続するため、接続部が高品質という特長もあります。

今回新発売する「矢崎・スリムブランチ」は、分岐部のモールドを業界最小に小型化した点が最大の特長で、貫通穴に通しやすく、ブランチケーブルの施工性をより向上させました。モールド部が小さいため、建物の貫通穴を小さくでき、穴に充填する耐火処理剤の利用量も削減できます。

また、当社が開発した「やわらか電線（CVT）」を「矢崎・スリムブランチ」に使用しているため取り回しが良く、配電盤接続作業も安全に行え、作業時間も短縮できます。

一方、既築物件のリフォーム工事では、階壁貫通穴の拡張工事をすることなくワンサイズ大きい電線を通すことができ、電気容量の拡大に対応できます。貫通穴の拡張工事が不要なので穴あけ作業による騒音がなくなり、工期短縮や張替え時の停電時間の短縮も図れます。

【矢崎・スリムブランチの特長】

1. JCS（日本電線工業会規格）準拠品です。
2. モールド部は、業界最小を実現しました。
 - ・ 幹線が150mm²の分岐線38mm²の場合、モールド部の直径は10mm細くなり、体積比では37%ダウンしました（全サイズ直径で5～15mm、体積比平均で約37%の小型化を実現しています）。
3. モールド部が貫通穴に引っかかりにくく、施工性が向上します。
4. 貫通穴も小型にでき、周辺部材のコストダウンが可能となります。
5. リフォームでの階壁貫通穴の拡張工事が不要になり工期短縮が図れます。
 - ・ 穴あけ作業による騒音を防止できます。
 - ・ ケーブル張替え工事に伴う停電時間が短縮できます。
6. 「やわらかCVT」を分岐ケーブルに使用し、配電盤等での接続作業を改善しています。

【矢崎ブランチ新旧比較】



当社従来品



スリムブランチ

【製品写真】



本件に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社 広報部
Tel. 055-965-3002 Fax. 055-965-0450
〒410-1194 静岡県裾野市御宿 1500 Y-CITY ワールド・ハット・クォーターズ

商品に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社 電線本部営業統括部分岐部
Tel. 055-924-2262 Fax. 055-921-2138
〒410-8511 静岡県沼津市大岡 2771